

まんのう町基礎データ

合併状況:平成18年3月に3町が合併(満濃町、琴南町、仲南町)
人口:17,401人(令和2年10月国勢調査人口確定値)
面積:194.45平方キロメートル

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

まんのう町における主な公共交通概要

○鉄道 JR土讃線、ことでん琴平線

○バス

(幹線)

・美合線(琴平営業所～落合橋)

琴平営業所を起点とし、JR琴平駅とことでん琴平駅を経由して美合地区まで行く路線

(フィーダー)

・美合線(落合橋～三角、落合橋～川奥、落合橋～下福家)
美合地区間(落合橋と三角・川奥・下福家)を結ぶ系統

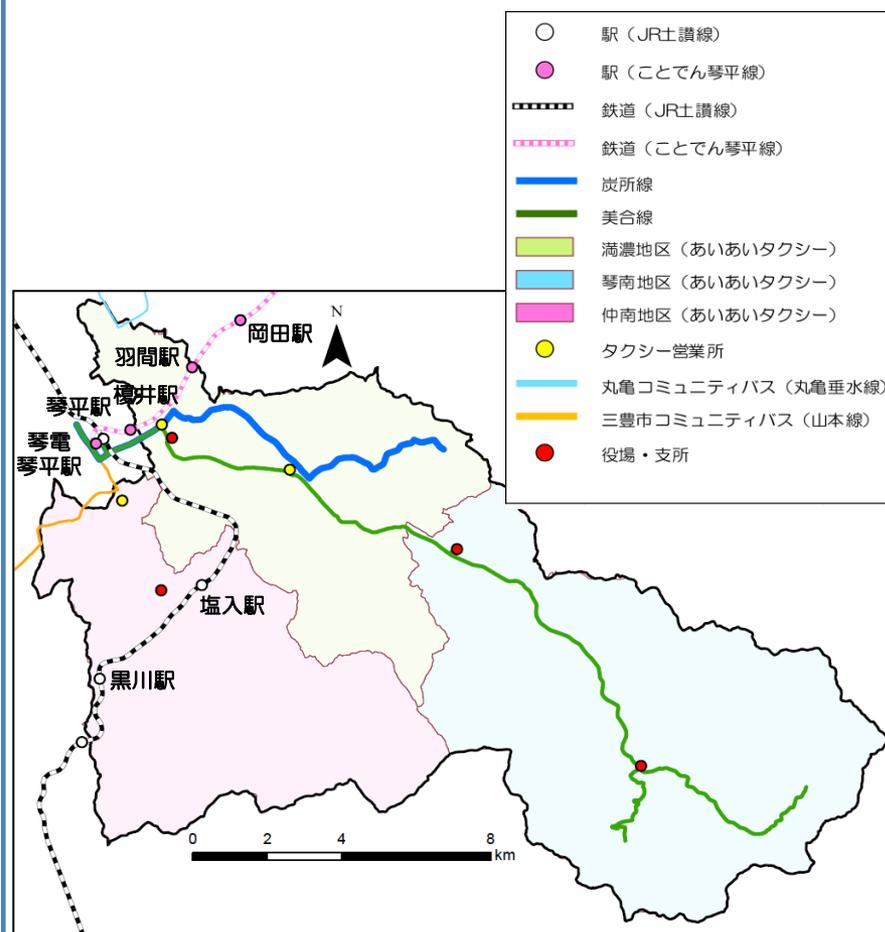
・美合線(落合橋～琴南小学校前)
造田地区と美合地区を結ぶ系統

・炭所線(琴平営業所～広袖)
琴平町、四条地区と長炭地区を結ぶ系統

○その他

・デマンドタクシー(満濃地区、琴南地区、仲南地区)

まんのう町の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

香川県 まんのう町 四国旅客鉄道(株) 高松琴平電気鉄道(株)
 琴参バス(株) 有限会社琴空バス タクシー事業者三社
 四国地方整備局 香川県中讃土木事務所 町建設土地改良課
 琴平警察署 町連合自治会 町商工会 町社会福祉協議会
 町老人クラブ連合会 町婦人連絡協議会 四国運輸局
 町教育委員会 琴平町 学識経験者

前年度の事業評価における課題

評価初年度のため、該当なし。

定量的な目標・効果

【目標】

※計画より抜粋

		目標
美合線 (落合橋～三角)	利用者数	2,920人
	収支率	12.2%
美合線 (落合橋～川奥)	利用者数	1,220人
	収支率	1.9%
美合線 (落合橋～下福家)	利用者数	490人
	収支率	2.9%
美合線 (落合橋～琴南小学校前)	利用者数	4,740人
	収支率	52.5%
炭所線 (琴平営業所～広袖)	利用者数	26,530人
	収支率	20.5%

※目標設定の基本的な考え方はまんのう町地域公共交通計画における目標管理に基づき、年間利用者数は直近の実績値を基準に増加させる目標をを設定した。

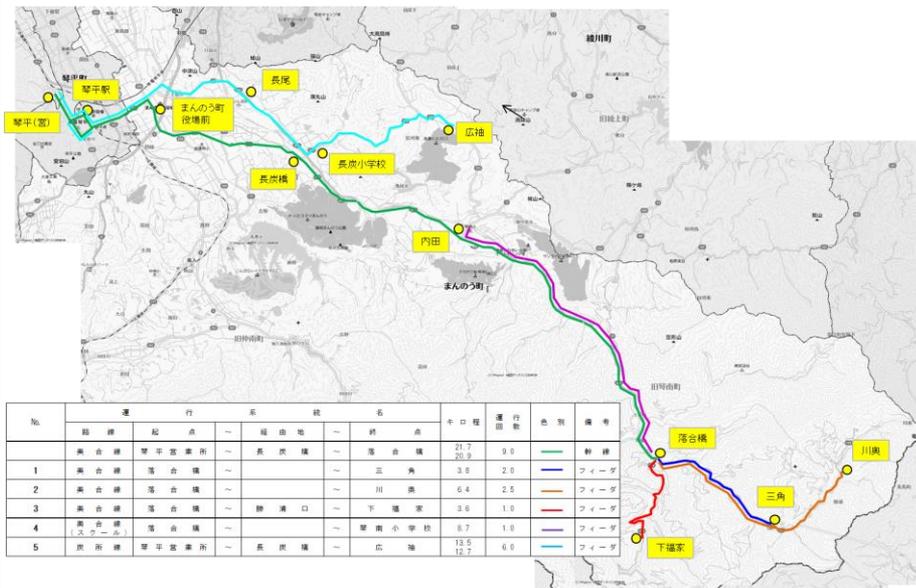
美合線(落合橋～三角)・(落合橋～琴南小学校前)、炭所線(琴平営業所～広袖)の実績値は路線バス乗降調査によるもの。美合線(落合橋～川奥)・(落合橋～下福家)の実績値はマナライズによるもの。美合線(落合橋～川奥)・(落合橋～下福家)については、補助要件を満たすため、1回当たりの乗車人員が2人以上になる目標設定をしている。

【効果】

- ・路線バスを維持・確保することにより、当該地区の高齢者等の通院や買い物等日常生活に必要な移動手段が確保される。
- ・幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系ができ、外出促進・地域活性化にもつながることが期待できる。

フィーダー系統図

まんのう町地域内路線図



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- ・路線バスとデマンドタクシーとが連携した共通パス券の、広報・購入推進を行った。
- ・高齢者向けの健康教室にて、運転免許の自主返納時、路線バスとデマンドタクシーとが連携した共通パス券の1年間の利用補助が受けられることを説明し、利用促進を図った。

自己評価

事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

「定量的な目標・効果」の達成状況

利用者数、収支率ともに目標達成したのは、美合線（落合橋～下福家）。
その他の系統においては、いずれか、もしくは両方が目標に未達であった。

		目標	実績値	差	達成率	備考
美合線 (落合橋～三角)	利用者数	2,920人	571人	▲ 2,349	19.6%	※フィーダー補助の要件である、 『1便あたり利用者数が2名』に未達
	収支率	12.2%	10.5%	▲ 1.7	86.1%	
美合線 (落合橋～川奥)	利用者数	1,220人	361人	▲ 859	29.6%	※フィーダー補助の要件である、 『1便あたり利用者数が2名』に未達
	収支率	1.9%	6.0%	+ 4.1	316%	
美合線 (落合橋～下福家)	利用者数	490人	808人	+ 318	165%	
	収支率	2.9%	38.6%	+ 35.7	1331%	
美合線 (落合橋～琴南小学校前)	利用者数	4,740人	3,167人	▲ 1,573	66.8%	
	収支率	52.5%	62.0%	+ 9.5	118%	
炭所線 (琴平営業所～広袖)	利用者数	26,530人	9,372人	▲ 17,158	35.3%	
	収支率	20.5%	22.0%	+ 1.5	107%	

今後の事業に向けた改善点

- ・利用者増加に繋がるよう、路線バスとデマンドタクシーとが連携した共通パス券の広報、購入促進を行う。
- ・利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。
- ・他路線(幹線系統、琴平線)との接続について、現状も乗換を考慮したダイヤとしているが、より利便性の高い時刻の作成や運行を検討する。

その他PRポイント

- ・デマンドタクシー利用申請者へ、路線バスと連携した共通パス券の購入推進を行った。
- ・まんのう町高齢者運転免許証自主返納支援事業の申請に来庁する高齢者に対し、公共交通をPRした。

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和8年1月26日

協議会名:	まんのう町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>まんのう町は香川県仲多度郡の3町(満濃町、琴南町、仲南町)が、平成18年3月20日に合併して誕生し、香川県中讃地域の南部に位置している。長炭地区、琴南地区には鉄道交通がなく、町外への公共交通手段としては、主として路線バスがその役割を担っており、近隣市町への重要な移動手段として利用されている。</p> <p>しかし、人口減少と自家用車の普及により、当町の公共交通機関の利用者は減少を続け、交通事業者の運営努力や自治体からの支援だけでは将来にわたって路線を確保・維持することが難しく、地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)により、路線を確保・維持する必要がある。路線バスを維持・確保することにより、当該地区の高齢者等の通院や買い物等日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる、外出促進・地域活性化にもつながることが期待できる。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

資料1-3

令和8年1月26日

協議会名: まんのう町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
琴参バス株式会社	美合線 (落合橋～三角)	評価初年度のため、該当なし。	A 計画通り事業は適切に実施された。		利用者数	収支率		<p>【利用者数目標達成率】19.6% (目標:2,920人/年) 【利用者数】571人/年 (対前年比:72.3%) 【1便あたり利用者数】0.7人</p> <p>【収支率目標達成率】86.1% (目標:12.2%) 【収支率】10.5% (対前年比:+8.5%) ※前年の収支率は乗降調査で得た利用者数によるもの</p> <p>目標未達の要因としては、目標設定時の利用者数について、乗降調査による値だったため、実績と乖離があったことが挙げられる。しかし、前年からマナライズによる実績値であるにも関わらず、利用者数の減少もあり、利用促進に関する広報活動が不足していたと考えられる。 今回フィーダー補助の要件である『1便あたり利用者数』が2名に満たなかったためC判定とした。</p>	<p>利用者増加に繋がるよう、路線バスとデマンドタクシーとが連携した共通パス券の広報、購入促進を行う。</p> <p>利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。</p> <p>他路線(幹線系統、琴平線)との接続について、現状も乗換を考慮したダイヤとしているが、より利便性の高い時刻の作成や運行を検討する。</p>
				R7実績(総数)	571名	10.5%	目標1:利用者数増加	×	
				C (1便当たり)	0.7名				
				対前年度比	72.3%	+8.5%	目標2:収支率改善	△	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

資料1-3

令和8年1月26日

協議会名: まんのう町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琴参バス株式会社	美合線 (落合橋～川奥)	評価初年度のため、該当なし。	A 計画通り事業は適切に実施された。		利用者数	収支率	【利用者数目標達成率】 29.6% (目標:1,220人/年) 【利用者数】361人/年 (対前年比:69.7%) 【1便あたり利用者数】 0.6人	【利用者数目標達成率】 29.6% (目標:1,220人/年) 【利用者数】361人/年 (対前年比:69.7%) 【1便あたり利用者数】 0.6人 【収支率目標達成率】316% (目標:1.9%) 【収支率】6.0% (対前年比:±0%) ※前年の収支率は乗降調査で得た利用者数によるもの 目標未達の要因としては、目標設定時の利用者数について、乗降調査による値だったため、実績と乖離があったことが挙げられる。しかし、前年からマナライズによる実績値であるにも関わらず、利用者数の減少もあり、利用促進に関する広報活動が不足していたと考えられる。 今回フィーダー補助の要件である『1便あたり利用者数』が2名に満たなかったためC判定とした。収支率は目標に達している。
				R7実績(総数)	361名	6.0%		
				C (1便当たり)	0.6名			
				対前年度比	69.7%	±0%	目標2:収支率改善 ○	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

資料1-3

令和8年1月26日

協議会名: まんのう町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
琴参バス株式会社	美合線 (落合橋～下福家)	評価初年度のため、該当なし。	A 計画通り事業は適切に実施された。		利用者数	収支率		<p>【利用者数目標達成率】165% (目標:490人/年) 【利用者数】808人/年 (対前年比:113%) 【1便あたり利用者数】3.3人</p> <p>○</p> <p>【収支率目標達成率】1331% (目標:2.9%) 【収支率】38.6% (対前年比:+36.5%) ※前年の収支率は乗降調査で得た利用者数によるもの</p> <p>利用者数、収支率ともに目標を大幅に達成できたため、A判定とした。</p> <p>○</p>	<p>引き続き、利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。</p> <p>他路線(幹線系統、琴平線)との接続について、現状も乗換を考慮したダイヤとしているが、より利便性の高い時刻の作成や運行を検討する。</p>
			A	R7実績(総数)	808名	38.6%	目標1:利用者数増加		
				A	(1便当たり)	3.3名			
					対前年度比	113%	+36.5%	目標2:収支率改善	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

資料1-3

令和8年1月26日

協議会名: まんのう町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
琴参バス株式会社	美合線 (落合橋～琴南小学校)	評価初年度のため、該当なし。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B	利用者数	収支率	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; right: 0; width: 50%; height: 50%; border: 1px solid black;"></div> </div>	<p>【利用者数目標達成率】66.8% (目標: 4,740人/年) 【利用者数】3,167人/年 (対前年比: 82.4%) 【1便あたり利用者数】13.0人</p> <p>【収支率目標達成率】118% (目標: 52.5%) 【収支率】62.0% (対前年比: ▲47%) ※前年の収支率は乗降調査で得た利用者数によるもの</p> <p>目標未達の要因としては、主な利用者が琴南小学校の生徒ということで、生徒数による影響が大きかったと考えられる。小学生以外にも利用促進となるような広報活動が不足していたと考えられる。今年度の収支率は目標に達しているため、B判定とした。</p>	<p>利用者増加に繋がるよう、路線バスとデマンドタクシーとが連携した共通パス券の広報、購入促進を行う。</p> <p>利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。</p> <p>他路線(幹線系統、琴平線)との接続について、現状も乗換を考慮したダイヤとしているが、より利便性の高い時刻の作成や運行を検討する。</p>
					R7実績(総数)	3,167名	62.0%	目標1: 利用者数増加 △	
					(1便当たり)	13.0名			
					対前年度比	82.4%	▲47%	目標2: 収支率改善 ○	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

資料1-3

令和8年1月26日

協議会名: まんのう町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)												
琴参バス株式会社	炭所線	評価初年度のため、該当なし。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>利用者数</td> <td>収支率</td> </tr> <tr> <td>R7実績(総数)</td> <td>9,372名</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>(1便当たり)</td> <td>6.4名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>112%</td> <td>▲2.9%</td> </tr> </table>		利用者数	収支率	R7実績(総数)	9,372名	22.0%	(1便当たり)	6.4名		対前年度比	112%	▲2.9%	<p>目標1: 利用者数増加 △</p> <p>目標2: 収支率改善 ○</p>	<p>【利用者数目標達成率】35.3% (目標: 26,530人/年) 【利用者数】9,372人/年 (対前年比: 112%) 【1便あたり利用者数】6.4人</p> <p>【収支率目標達成率】107% (目標: 20.5%) 【収支率】22.0% (対前年比: ▲2.9%)</p> <p>目標未達の要因としては、目標設定時の利用者数について、乗降調査による値だったため、実績と乖離があったことが挙げられる。しかし、前年からマナライズによる実績値であるにも関わらず、利用者数の増加も少ないため、利用促進に関する広報活動が不足していたと考えられる。今年度の収支率は目標に達しているため、B判定とした。</p>	<p>利用者増加に繋がるよう、路線バスとデマンドタクシーとが連携した共通パス券の広報、購入促進を行う。</p> <p>利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況の向上に向けた運行を検討する。</p> <p>他路線(幹線系統、琴平線)との接続について、現状も乗換を考慮したダイヤとしているが、より利便性の高い時刻の作成や運行を検討する。</p>
	利用者数	収支率																		
R7実績(総数)	9,372名	22.0%																		
(1便当たり)	6.4名																			
対前年度比	112%	▲2.9%																		